

# DoboX を活用した推定空き家の予測モデル構築・検証業務委託仕様書

## 1 目的

広島県では、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、広域的な立場から県全体の空き家対策を推進しており、市町の空き家対策が円滑に進むよう支援等を行っている。

今後、人口減少に伴い空き家の加速度的な増加が見込まれる中、行政においては、空き家を早期に把握し、所有者等に対して地域や建物のポテンシャルに応じた適切な情報提供や助言等を行い、老朽化した空き家の発生を未然に防いでいく必要がある。

県内市町では、これまで「職員等による外観調査」や「水道の閉栓情報」などから空き家の実態を把握してきたところであるが、調査に財政的・人的な負担が伴うことから5年に一回程度の実施頻度となっており、効率的な調査手法が求められている。

そこで、広島県が運営するインフラマネジメント基盤 DoboX（以下「DoboX」という）を活用した推定空き家の予測モデルを構築し、実効性のあるツールとなるよう検証を行う。

## 2 業務委託期間

契約締結日から令和8年3月31日まで

## 3 業務内容

### (1) 空き家の推定に関する関連動向の調査

空き家の推定に関する国や大学などの関連動向を調査し、関係者にヒアリングを行う。

ア 空き家の推定に関する国の取組状況

イ 空き家の推定手法に関する主な既往研究

ウ 関係者へのヒアリング（ヒアリング先は上記の調査を踏まえて抽出）

### (2) 推定空き家の予測モデルの構築

前項調査及び広島県が実施する市町へのヒアリング調査の結果を踏まえ、推定空き家の予測モデルの構築を行う。

ア 推定空き家の予測手法の検討

イ 推定空き家の予測に必要なデータと実施フローの整理

### (3) DoboX におけるシステム実装に向けた要件整理

前項までの結果を踏まえ、DoboX におけるシステム実装に向けた検討を行う。

ア システム全体構想検討（UI/UXを含む）

イ システム要件定義（データ、機能等）

ウ システムベンダーとの連携支援

※DoboX のシステム改修及び実証アプリの構築はシステムベンダーが行う。（業務対象外）

### (4) データを用いた機能検証

広島県が市町から収集する各種データを用いて、空き家推定機能の検証を行う。

ア 市町から収集した各種データ（個人情報を含まないサンプルデータ）の整理

イ ベータ版アプリの構築及びサンプルデータを用いた機能検証

ウ 実証協力市町（1～2市町程度）における本データを用いた機能検証の実施支援

エ DoboX での本実装に向けた検証結果の評価（技術検証レポートの作成を含む）